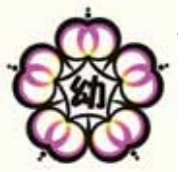
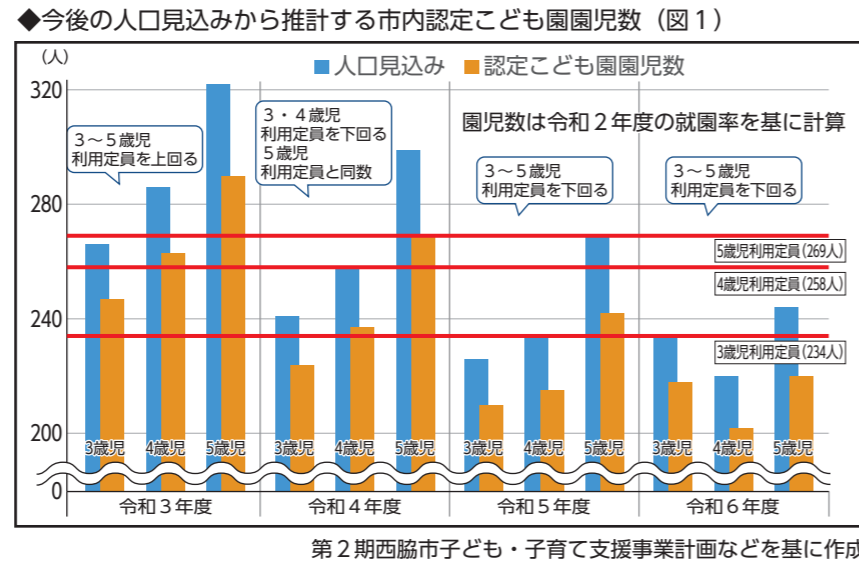


# 今後の「幼児数」「利用見込み」と 学識経験者らの「助言」を踏まえて決定



変更の理由は大きく2つあります。  
1つ目は「幼児数と利用見込み」の観点(図1)。今後の人口見込みから認定こども園を利用する幼児数を推計すると、令和3年度は3～5歳児で認定こども園の利用定員を上回る想定をしています。令和4年度には、3・4歳児で定員を下回りますが、3～5歳児の全年で定員を下回るのは、しばざくら幼稚園閉園後の、令和5年度と見込んでいます。  
幼稚園が閉園する令和4年度まで幼稚園で3～5歳児を受け入れることによって、認定こども園の利用定員に余裕を持たせることができます。



2つ目は学識経験者らの「助言」の観点から。西脇市は幼児教育・保育を専門分野とする大学教授らや特別支援学校職員、小学校の代表校長の5人で構成する「就学前教育・保育の質の向上推進委員会」を設置し、幼稚園・認定こども園での教育・保育の「質」の向上に努めています。同委員会の中で、『しばざくら幼稚園が閉園するまでの間、同園を保育実践の場としての機能を維持しつつ、教育・保育の研究を継続すべき』との意見がありました。

これら2つの理由を基に、子どもの保護者や子ども・子育て支援事業従事者、医師、大学教授ら16人から成る「子ども・子育て会議(令和2年7月)」で変更内容を審議していただいた結果、市は今回の決定に至りました。



西脇市が平成26年8月に策定した「就学前教育・保育の推進に関する基本方針」では、市立しばざくら幼稚園は令和4年度末(令和5年3月31日)に閉園することとしています。方針に基づき、園児の募集は令和3年度に3歳児を停止、令和4年度には3・4歳児の募集を停止して、園児数を段階的に縮小する計画でしたが、「就学前教育・保育の質の向上推進委員会」の意見や「子ども・子育て会議」での審議を踏まえ、幼稚園が閉園する令和4年度まで、3～5歳児の複数年教育を継続することに变更します。ただし、閉園時に在籍する園児は転園が必要です(3ページ参照)。入園申込み時には転園先の希望調査を行い、できる限り希望に沿えるよう対応します。  
なお、令和3年度のしばざくら幼稚園・認定こども園などへの入園手続きは、広報にしわき10月号でお知らせします。

◆問合せ 幼保連携課(市役所内線 562・563)

# 市立しばざくら幼稚園(3～5歳児) 閉園まで複数年教育を実施へ 入園対象幼児を変更します

市立しばざくら幼稚園  
園児受け入れの新たなイメージ

⚠ 令和3年度以降に入園する3歳児は、令和5年度には転園が必要です(申込み時に転園先希望調査を実施)。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
5歳児	平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれ 卒園	卒園	
4歳児	平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ		
3歳児	平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ ⚠	平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ ⚠	認定こども園などへ転園

市立しばざくら幼稚園 閉園

令和3・4年度の新規入園児募集は、いずれも前年度の10月に開始します。

